

日本学術会議 言語・文学委員会
古典文化と言語分科会（第24期・第1回）議事要旨

日時：平成30年 1月21日（日）14:00～16:30

場所：東京大学本郷キャンパス 法文2号館2階文学部教員談話室（合同会議）・
同国文研究室（分科会）

出席者：安藤宏、小倉孝誠、川合康三、木田章義、糸川麻里生、倉員正江、佐藤利行、
高橋宏幸、田邊玲子、西村賀子、三宅晶子、渡部泰明。

欠席者：大芝芳弘、久木田直江、山田俊治。

【議事内容】

1.（合同会議）

・第24期最初の会議のため、言語・文学委員会全4分科会の前後に合同会議を開催し、委員長・世話人の挨拶、分科会会員の自己紹介、分科会相互の調整・協力の検討などにつき確認した。

2.（分科会）

・委員長、副委員長、幹事（2名）の選出

小倉孝誠委員を委員長、倉員正江委員を副委員長、安藤宏委員・西村賀子委員を幹事として選出した。

・今後の活動方針

日本および諸外国における国語教育の現状を確認し、国語教科書における古典作品の位置づけを考察する。そのうえで、教師用指導書（マニュアル）も考慮に入れつつ、日本における古典教育の今後の方向性について議論し、その成果を教育現場へ反映させることを求めて「提言」を作成する。

3. 平成29年度第2回分科会日程

3月31日（土）14:00～16:00 於慶應義塾大学三田キャンパス
三宅晶子委員に、国語科教師用指導書に見る古典教育の現状と課題について、報告をお願いすることとなった。

以上